

	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
学科	基本計測 1/2	浅井 朋晃 矢野 史門	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	28	前期	必修
授業の概要	自動車の点検や、修理に使用する測定機器の正しい使用方法を学ぶ。						
授業の進め方	エンジンや、タイヤなどの部品を用いて、測定作業を行う。						
到達目標	測定機器の正しい取扱い方法や測定方法などを習得し、測定誤差を無くす。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 3	測定概要	測定作業の必要性や基礎を理解し、自動車の点検、修理における測定作業の重要性を理解する。					
4 ～ 23	実測作業	ノギス、ダイヤルゲージ、マイクロメータ、デプスゲージなどを使用して測定機器の正しい機器の取扱い、測定方法、測定時の体勢などを身に付ける。					
24 ～ 28	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	全国自動車大学校・整備専門学校協会 教科書「自動車整備工具・機器」 関係資料(プリント)						
アドバイス	今後の実習の基礎となる作業になります。実習での測定作業時に難なく行えるように、この実習で基礎を身に付けてください。						

	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	基本計測 2/2	浅井 朋晃	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	29	前期	必修
授業の概要	エンジン分解後、測定機器を使用して各部の測定を行い、部品の良否を判定する。						
授業の進め方	エンジン分解後、各部品を測定し基準値と比べる。						
到達目標	測定機器を正確に使いこなし、測定精度を向上させ、誤差をなくす。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 3	測定概要	物を計測することにより良否の判断の重要性を知る。 正しい測定をする上での準備、心構え等を覚える。					
4 ～ 8	エンジン分解	エンジンを分解し、同時に正しい工具の使い方を習得する。怪我等がないように安全作業に心がける。					
9 ～ 21	実測作業	分解した部品各部の測定作業。 測定値を正確に読み取り、良否判定ができるようにする。					
22 ～ 24	エンジン組み立て	エンジンを組み立て、調整を行い、工具の正しい使い方を習得する。 分解したものを正しく復元するように心がける。					
25 ～ 29	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	全国自動車大学校・整備専門学校協会 教科書「自動車整備工具・機器」 関係資料(プリント)						
アドバイス	エンジンオーバーホール作業を一連の流れにて実施します。 事前に測定機器の取扱いについてよく復習を行っておいてください。						